



政務活動費問題についての議会の見解..... 6

一般質問 防災、福祉、水道など現状と課題を質す 8

あの時のあの質問どうなった 17

新しい町づくりへ 私の提案..... 19

元気に響いたムレーメンの音楽隊
関連記事20p

発行／長野県飯網町議会 編集／議会報編集調査特別委員会 発行責任者／大川 憲明
〒389-1293 長野県上水内郡飯網町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和元年12月31日現在 人口11,021人 (98.6%) / 男5,420人 (98.4%) ・女5,601人 (98.7%)
世帯4,214 (100.8%) ※うち外国人世帯31 (103.3%) ()内は前年比率

新議会構成 決まる



議長 大川 憲明

チーム議会で 「量は質を凌駕する」

過去10年近く、住民参加による議会改革が行われた結果、8議題の政策提言を行い、町の政策に生かされています。

これらの議会活動が全国の議会に紹介され、視察の申し込みを受けるようになり、その対応に、全議員が分担してあたっています。この経験で議員力も徐々にあります、付いたと思

11月5日の第5回臨時議会で、新たな議会構成を決定しました。正副議長選では、立候補者が所信表明を行い、質疑応答も活発に行われ、投票で選出しました。常任委員会等の正副委員長及び構成メンバーも下記の表のとおり決定しました。

います。

これからの2年間では、政策サポーターとの政策提言の他に、各常任委員会ごとに政策提言のできる議会に発展させていきたいと考えています。

議会の使命は住民の福祉の向上と安全・安心に暮らせる町づくりに寄与することです。「量は質を凌駕する」の諺があるように、チーム議会になることで、町民の負託に答えられると考えます。「学ぶ議会」「議員の自由討論」を推進し、議会改革を一層前進させ、町民に信頼され、期待に応えられる議会を目指し、全力を尽くします。



議会運営委員長
清水 満



予算決算常任委員長
渡邊 千賀雄



福祉文教常任委員長
伊藤 まゆみ



総務産業常任委員長
風間 行男



副議長
青山 弘

大川憲明議員	9票
原田重美議員	4票
荒川詔夫議員	1票
無効票	1票

青山弘議員	6票
渡邊千賀雄議員	5票
風間行男議員	4票

清水均議員は一身上の都合により、12月5日総務産業常任委員長・12月13日予算決算常任副委員長を辞職しました。

飯綱町議会委員会等構成

委員会名

◎常任委員長 ○副常任委員長

総務産業常任委員会	7名	◎風間行男 ○原田幸長 清水 均 石川信雄 荒川詔夫 渡邊千賀雄 原田重美
福祉文教常任委員会	7名	◎伊藤まゆみ ○中島和子 目須田 修 瀧野良枝 清水 満 樋口 功 青山 弘
予算決算常任委員会	14名	◎渡邊千賀雄 ○瀧野良枝 清水 均 風間行男 中島和子 目須田 修 原田幸長 石川信雄 荒川詔夫 伊藤まゆみ 清水 満 樋口 功 原田重美 青山 弘
議会運営委員会	6名	◎清水 満 ○樋口 功 風間行男 原田幸長 伊藤まゆみ 渡邊千賀雄
議会報編集調査特別委員会	6名	◎石川信雄 ○原田幸長 中島和子 瀧野良枝 伊藤まゆみ 渡邊千賀雄

監査委員	1名	原田重美
消防委員会委員	1名	原田重美

一部事務組合等

北部衛生施設組合議会議員	5名	大川憲明 青山 弘 風間行男 伊藤まゆみ 中島和子
北信保健衛生施設組合議会議員	2名	大川憲明 伊藤まゆみ
長野広域連合議会議員	2名	大川憲明 伊藤まゆみ
森林・林業活性化促進議員連盟	15名	全議員

12月定例会

直売所さんちゃん、食ごよみ日和 新たにふるさと振興公社で運営

・12月定例会は、2日から18日までの17日間の会期で開催された。

・提出議案は、報告1件、条例12件、補正予算5件、その他6件、陳情2件・継続審査1件で、審議の結果、23議案を可決。陳情3件のうち1件を不採択とした。

・一般質問には、7人が立ち町の行政執行を質すとともに施策の提案を行った。

地方公務員法・地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

—可決

*フルタイム・パートタイム等の会計年度任用職員の給与、勤務時間等の条例を整備するもので11条例に及ぶ。

パートタイム会計年度任用職員*の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

—可決

フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例

—可決

※会計年度任用職員
年度における臨時・非常勤職員

基金条例の1部を改正する条例

—可決

森林環境譲与税が交付されるため、効果的な森林整備を行う基金を設置する。

サッカー場条例

—可決

旧牟礼西小のグラウンド



▲整備が進む旧牟礼西小のサッカーグラウンド

をサッカー場に整備したことから、設置・管理に必要な事項を定める条例制定。

農林畜産物直売施設条例

—可決

さんちゃん、四季菜、ムーちゃん等を指定管理者により、振興、活性化を図るための条例制定。

農林畜産物加工施設条例

—可決

三水・牟礼加工施設を指定管理者により振興を図るための条例制定。

下水道事業の設置等に関する条例

—可決

下水道事業を公営企業会計（財務適用）に適用させる条例制定。

成年被後見人等の権利の制限に係わる措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例

—可決

職員の分限に関する手続

き・効果に関する条例等の一部改正。

町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

—可決

人事院勧告に準じた改正で、期末手当の支給を、0.05月分引き上げる条例改正。

町特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例

—可決

人事院勧告に準じた改正で、期末手当の支給を、0.05月分引き上げる条例改正。

町一般職の職員の職員の給与に関する条例及び町一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

—可決

人事院勧告に準じた改正で給与初任給を15000円（大卒）、20000円（高卒）引き上げる等の条例改正。

定例会

公の施設の指定管理者の指定 4 件
— 可決

公の施設の名称

- ・飯綱町デイサービスセンターふれあいの園
- ・飯綱町デイサービスセンターひだまり園

指定管理者となる団体

社会福祉法人飯綱町社会福祉協議会

指定の期間

令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日

公の施設の名称

- ・三水農畜産物直売加工施設（直売所さんちゃん、農家レストラン食ごよみ日和）

指定管理者となる団体

有限会社ふるさと振興公社

指定の期間

令和 2 年 1 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日

公の施設の名称

- ・三水農畜産物直売加工施設（チアさみず）

指定管理者となる団体

さみず農産物加工組合

指定の期間

令和 2 年 1 月 1 日から令和 4 年 12 月 31 日



▲直売所さんちゃんと農家レストラン食ごよみ日和

陳情

日本政府に対して、国連の「沖縄県民は、先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書
— 不採択

9 月定例会継続審査のため、11 月 22 日に閉会中審査。

常任委員会での審査

意見 国連の勧告内容についてまで吟味しなければならず、審査を尽くすことはできないのではないか。

反対討論

直接議会に属するものとは異なるため。

妊婦を対象とした歯科健康診査の実施を求める陳情書
— 採択

町に対して、妊娠中の 14 回の健康診査の中に、歯科健康診査も入れてほしいというもの。

ケアプラン有料化などの介護保険制度見直しの中
止を求める意見書の採択
についての陳情 — 採択

ケアプラン有料化、要介護 1、2 の生活援助の削減など、サービスの抑制や負担増につながる見直しを行わないことと、国の負担割合を大幅に引上げることが求めている。
◎関係する機関に意見書を
送付した。

発議

地域の実情を十分に踏まえた地域医療構想の推進を求める意見書 — 可決

本年 9 月、国の地域医療構想に関するワーキンググループは、再編・統合が必

補正予算

令和元年度一般会計補正予算（第 4 号）
— 可決

規定予算に、1 億 5 3 6 1 万円を追加し、総額を 9 億 9 6 8 0 万円とするもの。

主な歳出

- ・旧牟礼西小キュービクル増設 3 0 0 0 万円
- ・ふるさと納税事業費 1 8 2 8 万円

- ・直売所ムーちゃん建物購入費 1 3 0 万円
- ・大門川改修費 7 2 6 万円

- ・農地災害復旧費（補助）11 箇所 3 1 7 5 万円
- ・農地災害復旧費（単独）8 箇所 5 2 5 万円

令和元年度一般会計補正予算（第 5 号） — 可決

既定予算に 2 3 4 万円を追加し、総額を 9 億 9 9 1 5 万円とするもの。

主な歳出

・人事院勧告による職員等の経費。

工事請負契約の締結

公共下水道管路施設工事（第 3 工区）

農集排を公共下水道に繋ぎこむための準備工事（袖之山処理場から旧高岡共撰所付近）

工事内容

延長 6 9 7 ・ 9 m

マンホール 8 箇所

契約金額 7 9 2 0 万円

契約の相手方

高木建設株式会社

第5回臨時会

11月5日開催

工事請負契約の締結
3件
—可決

事業内容

役場新庁舎 地中熱利用空調・融雪設備導入工事

・ 契約金額 1億10万円
・ 契約の相手方

株式会社角藤

旧三水第二小学校改修工事
(1階、2階部)

・ 契約金額 9570万円
・ 契約の相手方

中信建設株式会社

旧牟礼西小学校跡拠点整備
工事

・ 契約金額 8574万5000円
・ 契約の相手方

高木建設株式会社



工事変更請負契約の締結
—可決

事業内容

多世代交流施設建築工事

・ 契約金額
変更前 1億9431万
3600円
変更後 2億1092万
3600円

・ 契約の相手方

長電建設株式会社

公用車(マイクロバス)
購入業務

物品購入契約の締結

—可決

人事案件2件
—同意

監査委員の選任
原田重美氏

教育委員会委員の任命
宮島千幸氏

小池自動車

952万6000円

小池自動車

—同意

—同意

—同意

臨時会

賛否結果

令和元年 12月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対 欠 欠席)

議案名	表決結果	清水均	風間行男	中島和子	目須田修	瀧野良枝	原田幸長	石川信雄	荒川詔夫	伊藤まゆみ	青山弘	樋口功	渡邊千賀雄	原田重美	大川憲明	清水満
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
飯綱町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
飯綱町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
飯綱町基金条例の一部を改正する条例(森林整備を行う基金の設置)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
飯綱町サッカー場条例(旧牟礼西小にサッカー場を整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
飯綱町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(人事院勧告により期末手当を0.05ヶ月引き上げ)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
飯綱町特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例(人事院勧告により期末手当を0.05ヶ月引き上げ)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
飯綱町一般職の職員の給与に関する条例及び飯綱町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例(人事院勧告により初任給を引き上げる)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
陳情	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	欠	●	—
	妊婦を対象とした歯科健康診査の実施を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
	ケアプラン有料化などの介護保険制度見直しの中止を求める意見書採択についての陳情	採択	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠	○	—
地域の実情を十分に踏まえた地域医療構想の推進を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—

- ・その際、自身の車に同僚議員を乗せ、高速道路を利用し、同僚議員4人から各1,000円を受領したが、これはガソリンのみの代金と認識して受け取った。
- ・令和元年9月20日、清水議員は、研修参加に当たり自身の車でいったためその費用を自分で支払うものと解釈したが、ガソリン代は各議員から受領しているため、残りの高速代1,760円（交通費）を政務活動費として交付申請した。
- ・令和元年11月8日、清水均議員は町から申請に基づく金銭の交付を受けた。
- ・当該研修会に参加した他の議員は、これに関わる政務活動費の交付申請を行っていない。

議会の対応

元年12月24日、議会は、調査結果を受けて、議会全員協議会を開催し、次のとおり対応することを決定しました。

- ・「飯綱町議会政務活動費の交付に関する条例」における政務活動費の交付請求は、議員各自の活動に対する報告、請求であり、自己責任において内容の説明できるものでなければならない。このため、他の者の分まで請求できることを想定していない。

したがって、清水均議員が他の議員を誘って参加した研修に係る活動費であるとしても、このことをもって他の議員が請求すべきものまで請求することはできない。そうすると、本請求は適切ではないと判断しました。今回の政務活動費の使用については、研修会に参加していること、自己研鑽していることから請求できない内容のものではなく、請求の仕方に問題があったと解します。

- ・清水均議員に対しては、議員の進退について、議員辞職勧告すべきとの意見もありましたが、①他議員に立替えてもらった交通費についてはすでに当該議員に手渡していること、②交付を受けた当該政務活動費のすべてを町に返納していること、③議会の役職をすべて辞任していることなど、反省の姿勢がうかがわれることから、自らの責任において対応すべきとしました。

今後の対応

- ・議会は今後、政務活動費の適正な運用が行われるよう、全議員が条例の再確認を行うための研修会の開催を適時に実施します。
- ・現在、交付申請に伴う内容審査は、議長が実施していますが、条例により外部機関に事務委任することもできるので検討します。
- ・議会は、現行条例等について、改正すべき点がないか検討します。

議会としまして、今回の事件を踏まえ、前述の作業が終了するまでの間、昨年10月から全議員が政務活動費の使用を自粛することとしました。今後も、正すべきところは正し、前進していくよう努力する所存です。何卒、皆様のご理解をお願いします。

報道された政務活動費問題への見解

昨年12月4日、清水均議員の政務活動費の請求が「不適切請求か」と信濃毎日新聞に掲載され、テレビでも放映されました。本人は「認識が甘かった」と取材に応じ、当日、研修の交通費計10,120円を自主返納しました。

この件について、町民の皆様にご心配をおかけし、議会及び議員に対する疑念や不信を招いたことに対し、心からお詫び申し上げます。

議会では、次のとおり調査を行うとともに、その結果を踏まえ、議会全員協議会を開催し、対応を決定しました。

調査の内容

(1) 新聞報道の内容要約

政務活動費の請求が不適切ではないか。

- ・清水均議員が請求した政務活動費について、同僚が負担した領収書を使って請求した。
- ・同行した議員から「交通費」を受け取りながら請求した。

(2) 議会の調査内容（事実の把握）

議会は、清水均議員及び同行した議員からの聴き取り、関係書類の確認をし、次のとおり事実を把握した。

富山市研修会

- ・平成30年8月9日、清水均議員は富山市で開催された研修会「地方議会の改革を考える」に同僚議員3人と参加し同僚議員の所有する車に同乗し、高速道路を利用したガソリン代と駐車料金のすべてを同僚議員の一人が支払った。
- ・平成30年9月20日、清水議員は、研修参加に当たり、同僚議員を自ら誘ったことから発生した交通費はすべて自分で支払うものと解釈した。その際、高速料金は同僚議員のETCカードを利用したことから、その議員に交通費を立て替えてもらったと解釈し、政務活動費（交通費）の請求（8,360円）に当たり、議員のカード名で発行された利用証明書（領収書）を証拠書類として交付申請書に添付した。
- ・平成30年10月19日、清水均議員は町から申請に基づく金銭の交付を受けた。
- ・当該研修会に参加した他の議員は、これに関わる政務活動費の交付申請を行っていない。

上田市研修会

- ・令和元年8月17日、清水議員は上田市で開催された研修会「2020構想具現化の県内動向」に同僚議員4人と参加した。

防災、福祉、水道など現状と課題を質す

一般質問

樋口 功議員

- 1 町の災害時対応は
- 2 町内での太陽光発電設備設置への対応は
- 3 町立飯綱病院の今後は

伊藤 まゆみ議員

- 1 飯綱病院今後のあり方は
- 2 会計年度任用職員制度の運用は
- 3 介護予防・日常生活支援総合事業の充実を
- 4 災害時避難行動要支援者登録台帳整備の進捗は

中島 和子議員

- 1 台風19号への対応と今後の課題を問う
- 2 地域おこし協力隊と住民との関係作りを

清水 均議員

- 1 相談業務の現状は
- 2 福井団地グラウンド下の擁壁部分破損箇所補修は
- 3 福井団地青木製作所から福井集落上部への町道舗装を

渡邊 千賀雄議員

- 1 産業廃棄物最終処分場の搬入路計画は
- 2 台風・豪雨災害等の対策は
- 3 加齢性難聴者の補聴器購入に補助を

荒川 詔夫議員

- 1 三水上水道の水源確保のあり方等は
- 2 政策サポーターからの提言「魅力ある農業再生を目指して」の取組は

瀧野 良枝議員

- 1 集落創生事業の長期展望は
- 2 広報・広聴活動は万全か
- 3 職員の健康管理体制に問題はないか

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。

傍聴席



丸山 武史さん
(普光寺)

有線放送などで議会傍聴の案内広報はよく聞いていましたが、これまで行かずじまいでした。今年地区役員を仰せつかり良い機会と思い、初めて議会を傍聴しました。議場のピーンと張り詰めた緊張感の中、傍聴席に着きました。今年3回目の傍聴となりました。議論は1問1答形式で進みます。

議員の発言事項は事前通告されており、諸課題について町が真摯に受け答えしながら議論が繰り広げられています。都合で1日目の半日だけの傍聴でしたが、台風19号の豪雨で千曲川流域をはじめ各地が甚大な災害に見舞われた直後でもあり、議員からの発言

防災対策更なる強化を！

事項は今回の災害に対する町の対応や、今後の防災対策についての方針を質す内容が多く、町の危機管理について、例えば町庁舎が被災しても「町民会館」を、など防災に対応する備えや具体的な対応策が聞け、たいへん良い機会になりました。

ところで、議会初日朝刊で一議員の政務活動費を巡る記事が報道され議会がテレビ取材を受けることになりました。飯綱町にとって明るい話題の取材は大変結構ですが、今回のようにマイナスイメージがテレビなどで話題になるようなことが起きないよう心掛けていただきます。

町立飯綱病院の今後は

町長 存続は当然のこととして 取り組んでいく



樋口 功議員

台風19号への 町の対応評価は

樋口 住家の破損、断水、停電、倒木、農産物被害などが発生したが、町の対応はどうであったか。

町長 事前の気象情報により、早めに警戒体制がとれた。被災対応は、倒木除去、避難所の開設、停電に伴う電源確保、入浴施設の開設及び住民への情報提供等で比較的順調に進められた。

被災した近隣市町村 への応援は

樋口 町長は被災対処後、大きな被害を受けた長野市に向かったが、応援の状況は。

町長 市の要望を聞き、町でできることはする旨申し出た。1カ月間、社協や信濃町と協力する中でボランティア・サテライトの設置と受入れなどを実施した。

防災訓練等で 再検討すべきことは

樋口 毎年、町内一斉防災訓練を実施しているが、例えば、「住民支え合いマツ

プ」は災害時の住民相互の安否確認に有効だが、全集落に浸透していない。また、

台風19号では全国的に土砂災害警戒区域以外で大きな被害、犠牲者が発生した。

町内にも土砂災害危険箇所及び地図があるが、内容の再確認なども含め、実効性のある訓練が必要ではないか。

町長 土砂災害警戒区域の見直しも含め、実効性ある防災訓練を実施していきたい。

太陽光発電設備設置 への対応は

樋口 特に、森林地域での太陽光発電設備設置に対する町の対応は。

住民環境課長 自然環境保全条例及び同施行規則で対応。定格出力が10kW以上の設備は事前協議を受け付け、その後、許可申請となる。なお、10kWとはほとんどの設備が対象となる。

条例等で対応を 明確にすべきでは

樋口 美しいふるさとの原風景を守るため、条例等で町の対応を明確にすべきではないか。

町長 10kW以上を事前協議の対象とする環境保全条例は、かなり水準の高い条例と思う。別枠で太陽光に関する条例が必要かは景観を守ることも含め、課題として考えたい。

町立飯綱病院の今後は

樋口 国は9月26日に424の公的病院について、再編・統合の議論が必要として病院名を公表した。これ

に飯綱病院が含まれている。町民等に不安が生じているが、どう対処するのか。

事務局長 当院の属する長野医療圏の会議で将来像を検討し、再編・統合を見極めていくことになるが、引き続き地域医療を守り、住民の安全・安心を守ることが実現できる病院として残れるよう協議をしていく。

町長 住民の健康を守ることは、地方自治体の責務であり、飯綱病院は町にとって不可欠。病院長をはじめとした現場としっかりスクラムを組み、存続は当然のこととして取り組んでいく。



▲倒木が道路をふさぐ(溝口会館付近の町道)



▲地域医療を守る飯綱病院

災害対策マニュアルの見直しを

町長 大きな課題として検討する

台風19号に対する

対応と課題

中島 今後も予想される豪雨災害に対し、ハザードマップの浸水想定区域0・5m未満にある新庁舎の建設対策は。

町長 入札はこれから、浸水に対応出来る設計の配慮をしていく。浚渫作業（水底にたまった土砂を取り除く）や、福祉センターは駐車場とする。最悪の場合は同じ機能を持つ町民会館に災害対策本部を移す。



中島 和子議員

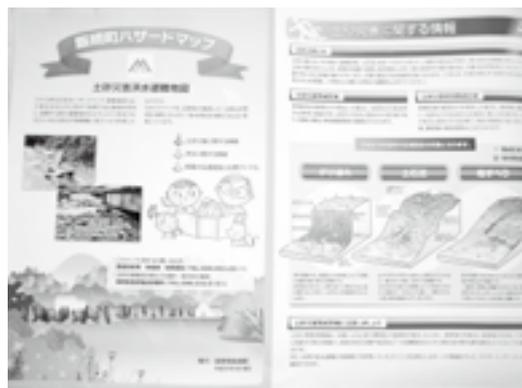
中島 浸水想定区域内の住民への周知は。

町長 訓練等で実際の行動を身につけてもらう。まずは自分の身を守る事が極めて大事と思う。避難場所や避難方法を含め行政の周知を徹底させる。

中島 ボランティア活動をスムーズにする為に、IT活用での情報収集と、これまでのノウハウを踏まえた活動の連携で時代に合った確かな応援体制のマニュアル作成を今後の課題として欲しいが。

町長 情報の収集や共有などITを使う時代になっていく。大きな検討課題として整理したい。今回、ボランティアのサテライトはこちらから提案して開設した。行政の早急な対応をこれから研究していく。

中島 ライフラインが途絶



▲確認しておきたいハザードマップ

えた時のトイレ対応と、マンホールトイレの設置も検討しては。

町長 携帯トイレは、各戸に備えることも必要だ。マンホールトイレは本管が近くにある適地や貯水が条件になる。

建設水道課長 流水が必要となることからプール併設の避難所への設置も考えら

れるが、現状等を調査して各課と検討する。

中島 避難所開設への日頃のシミュレーションは。また、要支援者の避難は。

保健福祉課長 プライベートに配慮したスペースの確保が今後の課題。

町長 事前に準備が出来る災害は、一定のシステムで動けるが、混乱するような世界になった場合は、自分で逃げる事が精一杯である。要支援者の避難は個々で考えていただきたい。福祉避難所として旧飯綱病院を予定している。

中島 今後の町の支援として、空き家の紹介や、農業従事者の受け入れは。

町長 一定の時間経過の中で希望を受け入れたい。来年4月から災害担当事務として職員1人を長野市役所に派遣する。

地域おこし協力隊と住民との関係作りを

中島 現在6名の協力隊を迎えているが、住民への周知が更に必要と思うが。

企画課長 ホームページや



▲段差がなく使用しやすい下水道直結のマンホールトイレ

広報でも紹介はしている。機会があれば報告、発表会で伝えていく。地域に溶け込んでいただくことも大切で、関係者だけでなくもう少し周知に努める。

中島 隊員と地域をつなぐ専門のコーディネーターが必要と思うが。

町長 所属課の担当職員が兼務で行っている。コーディネート制度は必要だが財政的には厳しい。

産廃
処分場

搬入路の

計画変更への考えは

町長 豊田地域からだめなら町からもノーだ



渡邊 千賀雄議員



▲搬入道路に予定された芋川の道路

搬入路の芋川への計画変更には

渡邊 処分場への搬入道路を、豊田地積経路から、芋川経路に変更したとのことだが。

住民環境課長 正式な変更届書が提出されておらず、対応すべきことはない。

渡邊 あらためて、処分場は受け入れられないと表明すべきだ。

町長 ごみの処分は、長野

広域連合で実施。町には必要な施設だ。豊田からだめなら、わが町もノーだ。

台風・豪雨災害等の 教訓を生かせ

渡邊 台風、豪雨、豪雪、地震など自然災害をなくすることは、不可能だが被害を軽くすることはできるとされる。起こった災害の事例から貴重な教訓として役立つことが重要だ。

① 防災方針・計画対策

② いかに減災対策

③ 被害発生への復旧支援対策

今回の台風19号による災害を目の当たりにして痛感することだが、100年に1度といわれる災害を、10年に1度ぐらいに置き換えて考え、対応すべきと思うが見解を。

町長 そのとおりだが、相当難しい。

渡邊 ハザードマップの練り上げと有効活用・実践的防災訓練が重要と思うがどうか。

町長 土砂災害ハザードマップなどマップは4本あ



(施工後)



▲浚渫工事が進む斑尾川(施工前)

る。特定目的を持った防災訓練にしていく。

渡邊 防災対策として災害情報、状況、停電情報を早く知らせることは。

町長 災害情報はマスコミが早い。停電情報は中部電力のしっかりした対応が欲しかった。

渡邊 避難所の開設を臨機応変に対応することは。

町長 今回2か所開設した。災害の種類により対応する。

渡邊 倒木被害の状況を把握し、対応することは。

総務課長 別荘地や全域で確認され、停電が発生した。中部電力と「災害時における相互協力協定」を結んだ。

渡邊 河川整備・浚渫とがけ崩れ対策の計画的実施は。
建設水道課長 斑尾川(芋川)、鳥居川で浚渫。県で滝沢川と鳥居川に監視カメラ設置。

加齢性難聴者の 補聴器購入に補助を

渡邊 難聴になると会話が少なくなり会合出席や外出の機会が減り、コミュニケーションシオン障害が起こり、さらに認知機能低下が進むとされている。補助制度の実施を。

町長 重度の人は、身体障害者手帳を申請して欲しい。

渡邊 難聴者の14・4%しか補聴器をつけていないという。補聴器は2〜3万円から30〜90万円もあり高すぎるということだ。

保健福祉課長 難聴の軽・中度の方が問題ある。研究したい。

職員ファシリテーターの地域派遣を 町長 資質向上に努め地域への参画も

集落創生事業 行政の伴走力の発揮を

瀧野 計画、実施段階ではもちろんのこと、事業終了後、具体的な視点に立った10年、20年後の集落づくりを集落全体に響かせることが一番重要であり、そこまでの行政の伴走力が大切だと思ふが。

町長 担当職員を含め、時間をかけて話し合い、事業実施後もPDCA*を繰り返していくことが非常に重要。場合によっては、動向を見



瀧野 良枝議員

ながら事業自体を5年延長していくなど、議会と相談していくことも考えている。

(※PDCA P計画、D実施、C評価、A改善)

職員ファシリテーターの地域派遣を

瀧野 若い方が会議に出られないことも多いが、他の

予定をおしてまで参加する必要性を感じられない可能性もある。そこで、職員ファシリテーターを養成し、地域等の話し合いの活性化に役立てる考えはないか。

町長 地域に飛び込んで活動する職員が増えれば、地

元も役場も良くなる。なるべくその方向で、職員の資質向上をさせていく。住民同士の議論をしっかりと聞いて欲しいという要望があれば、そのような参画の仕方

も大いに賛成なので呼んでいただきたい。

『ファシリテーター』とは

会議や集団活動において、参加者の個性や多様性を生かし、創造的で生産性の高い議論や学び、人間関係づくりを促進する人

- ・誰もが意見を言える安心な場を整える
- ・参加者間のコミュニケーションを円滑にする
- ・議論が白熱したり、脱線しても、ぶれない視点でゴールを目指す

⇒参加者の有用感や達成感が満たされ、決定事項に対して、その後の貢献度が高まる



▲一人ひとりの知恵や力を上手に引き出すファシリテーター

住民ファシリテーターの養成を

瀧野 住民の対話による町づくりの推進のため、住民ファシリテーターを養成する考えはないか。

町長 住民の中からリーダー的な存在として頑張っていたいただきたいという考えに異論はない。

広報・広聴活動は万全か

瀧野 災害時など、ホームページの膨大な情報の中からも必要な事項を探し出すよりも、最短距離で回答に近づけるためにLINE(ライン)*の活用を。

町長 防災計画においても、そういう対応も必要になってくると考えている。

(※LINE(ライン) 利用者が登録した情報のみをスマートフォン等に配信できる機能がある)

瀧野 大学生、就労者、中高生、転入者、子育て層と

いう順位で意見収集率が低いと言われているが対策は、

企画課長 インターネット

を利用した調査も試行している。

職員の健康管理体制に問題はないか

瀧野 精神疾患等による休職者数は、

総務課長 役場・病院含め、昨年度は4名、今現在は5名。

瀧野 職場復帰を支援する取組は、

総務課長 試し出勤等、不安を緩和し、円滑に復帰できるよう進めている。

瀧野 管理監督者にカウンセリングに重点を置いた研修を行うことで、職員相談の効果的な実施に繋がると思ふが。

総務課長 係長以上を対象に管理監督者の役割について、全職員対象ではストレスマネジメントについての研修を実施した。

瀧野 座学だけでなく、実践に使えるような研修であったか。

総務課長 長野産業保健総合支援センター主催の実践的な研修であった。

飯綱病院 今後のあり方は

町長 病院の存続は町にとって不可欠



伊藤 まゆみ議員

伊藤 30年度決算で22年ぶりに黒字となり、病院長はじめスタッフの努力に敬意を表する。

しかし、厚労省が再検証要請対象医療機関として病院名を発表した中に、飯綱病院も含まれた。地方自治をないがしろにしたものだ。今後のあり方は。

町長 病院の存在は、町にとって不可欠で、病院長をはじめとする現場ともしっかりスクラムを組み、存続



▲アイバス利用で通院する患者さん

に取組む。
伊藤 地域医療構想で、病床削減が求められているが、病院事務長 病床削減ありきでの検討はしていない。
伊藤 4階療養病床の今後のあり方は。
事務長 2023年までにじっくり検討したい。

会計年度任用職員制度の運用は

伊藤 対象人数と増加する予算の見込みは。

総務課長 パート93名、フルタイム180名。予算は、1億円ほど増加見込み。

伊藤 同一労働同一賃金は、据えられているか。

町長 一般行政職と同様にするなら、正規採用した方がよい。

伊藤 継続雇用の場合、キャリアは評価されるのか。

総務課長 すべてで加味してはない。今後は、人事評価による。

総合事業の充実を

伊藤 通所Bに取り組む団体の推移は。

保健福祉課長 現在6地区で取組まれ、2地区が準備中。社会福祉協議会の2名のコーディネーターが支援。

伊藤 地域の絆を深めるため訪問Dの補助継続を。

保健福祉課長 事業者を圧迫してはいけないので、慎重に検討したい。

伊藤 ボランティアへのポイント付与で、運営への参加を広めることは。

町長 いいづなカード組合が、4月からカード切り替えを行う。行政も、ボランティア活動、検診などポイント化を検討している。

要支援台帳整備の進捗は

伊藤 災害時避難行動要支



▲総合事業で地域の絆を

援者登録台帳整備は、登録が進んでいるが、進捗は。

保健福祉課長 要支援者、支援者合わせて、259名地域支え合いマップと重ね、ものの確認をしたい。

伊藤 阿智村では、障がい者や難病の方に直接聞き取り、詳細な手順なども整備している。取組む考えは。

保健福祉課長 事情は個別にあると思う。主任児童委員の力を借りて把握し、データ化し管理していく。

就職氷河期世代の相談体制は

保健福祉課長 複雑な関係機関で連携

清水 就職氷河期世代の非正規職や引きこもり者等への相談窓口を設置し、法律に基づき行っている。

まず、児童虐待の防止等に関する法律については、**保健福祉課長** 窓口は教育委員会。延べ件数は、平成30年度まで208件、平成30年度3件、終結2件、継続11件、前年度からの継続11件の内、終結2件、継続9件。

清水 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV）について



清水 均議員

では。

保健福祉課長 窓口は健康推進係で、延べ件数は平成30年度まで2件、新規1件、終結1件。

清水 自殺対策基本法については。

保健福祉課長 窓口は健康推進係で、平成30年度28件

清水 障害者基本法については。

保健福祉課長 窓口は福祉係で、延べ件数平成30年度10件、新規0件、継続2件、終結2件。

清水 児童福祉法については。

保健福祉課長 窓口は福祉係で、延べ件数は平成30年度まで28件。

平成30年度28件。

清水 高齢者虐待法については。

保健福祉課長 窓口は地域包括支援センターで、延べ件数は平成30年度まで10件、平成30年度11件。

終結2件、継続1件。前年度からの継続3件の内終結3件。

複雑な問題を抱えている家庭については、事務者が関係機関、児童福祉機関、県の機関、教育機関、社会福祉法人等が集まって情報の供給を図り総合連携支援方針を確認しながら対応していく。



清水 特に自殺や引きこもりは今後相談件数が増加することが予想される。体制の強化と相談力アップのために対策を考えているか。

町長 自殺対策は、知事が筆頭役になり市町村に対策の計画をする必要性を訴えた。飯綱町もそれに対する計画を策定し福祉係、健康推進係で実施していく。

老人福祉サービスは介護保険法に基づいて、配食、デイサービス等を行っている。

健康な老人の方が生きがいや誇りを持って暮らしていくには、どうするかを考えていきたい。

福井団地グラウンド下 擁壁の補修を

町長 住宅公社が建設し、町に名義が移った。中心施設には避難所の指定もあるし、町が責任持って対応すべきエリアである。当面危険はないが、20m〜30m程

度の改修の予算措置をした。い。



▲補修が必要と思われる擁壁

福井団地青木製作所 西側の町道舗装

町長 2年前道路災害により荒れたが、砂利をしっかりと敷き詰めた型で対応しているのが良くなっている。

延長も長い距離では無いので全部舗装した場合、側溝の流末処理が問題である。農地耕作・交通量の関係で必要であれば側溝と透水性の舗装を考えたい。



荒川 詔夫議員

三水上水道水源のあり方は 町長 令和3年度までに方向付けを

荒川 上水道に係る三水上水場の耐用年数と残存期間は。

町長 昭和47年に建設され、目安として50年の耐用年数として何らかの対応をした。

荒川 三水地区大半の上水道は鳥居川から8割程度取水している。住民の受け止め方はどうか。

町長 一級河川から水道や用水に許可を得る努力は大変の思いがある。不満足な思いかも知れないが、安全・豊かな水道水の確保は行政の責務である。

荒川 三水上水道の良い水供給への所見は。

町長 鳥居川は、現場の話や聞きと油が混じっているときもある。全面的に美味しい水供給への答弁は控えない。

荒川 水源確保の検討経過と課題は。

町長 検討中である。財源に係るため、水道料金の値上げは生活に欠かせないため、慎重にならざるを得ない。

荒川 検討委員会設置の目的と具体的内容は。

町長 水道法改正による事業の民間委託は行わない。料金問題を含め、あり方を総合的な見地で設置をしたい。

荒川 美味しい水供給に向けた具体策と対応方針は。

町長 上水道問題は大事である。令和3年度までの中で水源問題を議論し、その後には財源確保を見通したい。

荒川 財源に係る方策別所要見込み額は。

建設水道課長 土橋付近の井戸掘削は4000万円、三水浄水場へ高度濾過装置



▲三水浄水場への取水口

設置は5億8000万円。なお、原水価額購入を近隣市町へ問いかけている。価額は示されていないが、高額の費用が見込まれる。

荒川 人口減少による飯綱町水道事業の経営健全化に向けた対応方針は。

町長 水道会計への支援は、合併5年を目途であった。15年目を迎えても続いている。今後、大規模改修等々の時には協議をする。

料金改定は5、10年ピッチで対応をしたい。

政策サポーター会議 提言への所見は

荒川 政策サポーター会議による「魅力ある農業再生を目指して」政策提言を行った。推進に向けた所見と決意は。

町長 提案書の中身は高度で良くまとめられていた。りんご新しい化栽培普及、町の気候と客需要を見込んだ品種導入、販売ではネット販売やJ・Aとの連携、鳥獣害防止対策、AI（人工知能）等を装置した農業機械導入可能な自己負担金な



▲第4次政策サポーター会議テーマ①

しの土地基盤整備等々、明日を目指した事業推進をしたい。

※政策サポーター 制度とは

- ①開かれた議会活動とするため町民の参加を拡げる。
- ②議員定数が減る中で町民の知恵を借り、政策づくりを議員と協働の力で進める。ことを目的に、平成22年度から各常任委員会別にテーマを設定のうえ、公募等により取り組んでいる。

第4次 政策サポーター会議 政策提言

～11月1日 町長へ提出～

テーマ

- ① 魅力ある農業再生を目指して
- ② 日本一住みたいまちづくり、
20年後の為に今なすべきこと

※詳細はHPに公開

テーマ① 魅力ある農業再生を目指して

町の現状は、農業就業人口、後継者担い手も減少している。この結果、果樹農業など集約度の高い耕作が減少し、条件不利地を含め農地の荒廃化が進んでいる現状を踏まえ、将来を見据えた施策展開を提言する。

- ◎多様な担い手確保と人材育成
 - ① 農業従事者の農作業事故防止策強化
 - ② 新規就農者等、多様な担い手確保の条件整備
- ◎家族経営農家の支援強化

町の現状

	2005年	2015年
農家戸数	1207戸	945戸
基幹的農業従事者	1,568人	1,430人
農業従事者平均年齢	57.0歳	60.6歳
りんご栽培面積	433ha	377ha
もも栽培面積	27ha	21ha
水稲栽培面積	386ha	368ha

- ◎所得確保等、儲かる農業を目指して

- ① 主要農産物の儲かる農業の推進
- ② 所得補償と価格補償施策の導入
- ③ 省力化・低コストの品種等の導入・支援・拡充
- ◎主要農産物の安定生産とブランド化推進

- ① 気象条件等に適合した品種の改良、新品質の導入
- ② 主要農産物のブランド化推進に向けたPR強化
- ◎農地の生産基盤の再構築と見直し

- ① 水利不便農地への水確保対策
- ② 人・農地プランの実質化の推進
- ③ 遊休農地の防止策
- ④ 鳥獣被害防止策の構築

◎AIなど新時代農業の普及と推進

- ① スマート農業実践に向けた計画的土地改良
- ② 農業従事者等への生産技術(AI・ICT)の向上
- ③ AI等の機器、施設設置の補助金の条件緩和と増額
- ④ りんご高密度栽培施設(植物工場)の実証試験

政策サポーター会議

テーマ② 日本一住みたいまちづくり
20年後の為に今なすべきこと

第2次総合計画の重点目標である「日本一女性が住みたくなる町へ」を達成することを念頭に置き、前期基本計画から2テーマを設定し、提言する。

- ◎テーマ1 自然(自然を守る・自然に親しむ)
 - ① 景観条例・自然保護条例(仮称)の制定
 - ② 町の歴史的な文化財の案内整備
 - ③ 三用水を世界かんがい施設遺産の認定を得られるように維持管理
 - ④ 針葉樹を間伐して混合林へ転換
 - ⑤ 新規就農者の受け入れ体制強化
 - ⑥ 既存小規模農業者へのバックアップ等
 - ⑦ 環境と農業を融合した施策推進

◎テーマ2 安全・安心(暮らし・子育て・公共交通)

- ① 町の特性を生かした教育の推進
- ② 親子参加の学校独自のプログラム
- ③ 地の利を活かしたスポーツイベントの開催
- ④ 新設の直売所を観光・特産物の情報発信基地として機能強化
- ⑤ 賑わいや季節の花に溢れた駅前整備
- ⑥ 山村留学など関係人口づくりの強化
- ⑦ 孫ターン政策の推進



▲親子で体験プログラム参加

あの時の あの質問 どうなった??

【令和元年9月 一般質問】

Q 担い手不足など、将来の集落維持に向けての対策は。

A 住民課題と都市部の住民の課題を解決しあうプロジェクトを検討する。



対応

奈良本地区において千葉県流山市の団体とまちづくり価値交換実証プロジェクトを実施。今後も検証を重ねていく。

奈良本の荒廃地を活用した▶
「みりんカフェ」



【令和元年6月 一般質問】

Q 2種類以上の食物アレルギーがある場合、弁当を持参しているとのことだが、改善策を。

A 臨時の管理栄養士を採用し、アレルギー対応に特化した形で業務にあたっている。管理栄養士と栄養教諭で給食提供ができないか検討する。



対応

7月から複数のアレルギーのある児童への給食提供を開始した。



▲アレルギー対応の特別食調理室

議会だより第56号(9月定例会)

モニターアンケートにお答えします

町税は減少し交付税が増加とは

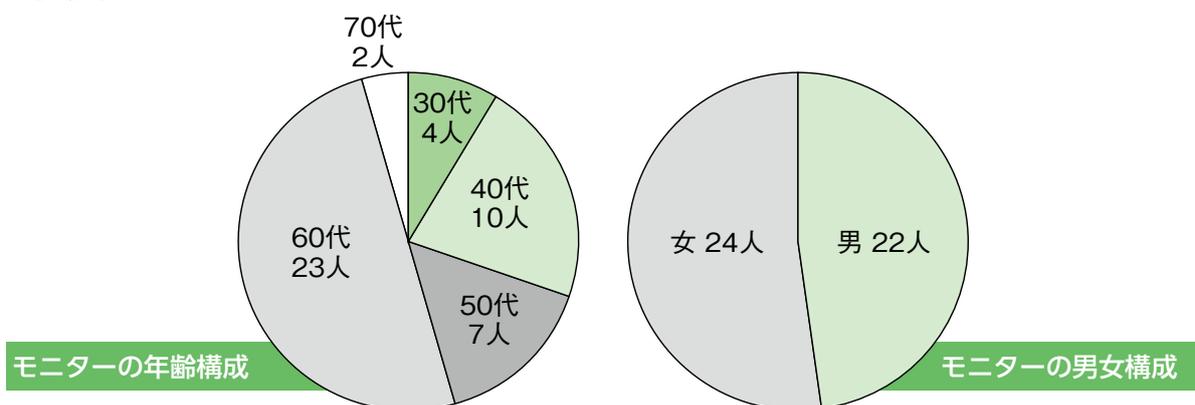
Q 平成30年度一般・特別会計決算で「町税は減少し地方交付税が増加」の意味も解説していただくと良かったと思います。

A 町税は、固定資産税の評価替えの影響により、全体で1,931万円の減となりました。地方交付税は、普通交付税の特例措置の縮減の3年目(縮減率50%)になりましたが、算定の結果1億1,113万円の増の34億7,149万円(普通、特別交付税併せて)となりました。

若い方、高齢の方から率直な意見を

Q 議会だよりモニターの方がいくつくらいの方がいらっしゃるのかわかりませんが、たまに高校生や20代の方、70代の方に読んでいただいて、率直な意見をいただくのはどうでしょうか。

A 現在、46名のモニターさんをお願いしています。年齢、男女の割合は、下記のとおりです。いただいた意見は、よりよい議会だよりにしていくため編集委員会で検討したいと思います。アンケートの内容は、ホームページにすべて掲載しています。



モニターとの意見交換会 もうひと工夫を

Q 8月に議会だよりモニターとの意見交換会が開催されたが、出席者が少なかったようです。欠席する方に何か議会に対するコメントを求めるなどすれば、さらに充実した議会運営が図られるのではと思う。

A ありがとうございます。次回に向け検討したいと思います。また、なるべく多くのモニターさんに参加いただき、貴重な意見を出していただけるよう工夫したいと思います。

新しい町づくりへ 私の提案

第17回

飯綱町の 観光イベント



上野 千野子さん
(倉井)

町では素敵なイベントが四季を通して開催されています。ただ、このイベントや観光スポットがバラバラな感じがつながっていない気がします。

数あるイベントも思い切って季節に一度にして町をあげてのフェスはどうかろう。山菜・きのこ・農産物・子どもの遊びや体験等。すべて町の資産であるもの。同時期、地域ごとで花畑コンテストを開催するなどの住民参加。道の駅、点在する学校跡地などの施設も使い町をめぐるイメージ。

町の魅力を知ったなら、また飯綱町を訪ねてくれる方も多はず。

そして数々のイベントを支えている人も重複している。町民も楽しい、知っている、参加したくなる「町民主催のフェス」いかがでしょうか……。

若者が農業で自立 できる町づくりを



小山 貴志さん
(平出)

農業で自立する。それは一般的にハドルの高い生き方だ、と思われているのではないのでしょうか。私は7年前に長野市から飯綱町にきました。同級生で農業に従事している友人はひとりもいません。それは例えば、芸術家として絵を描いて暮らすこと、と同じような次元の生き方ではないかと私自身ずっと思っていました。

現在私は、農業関連の仕事をやしつつ、少しばかりお米を作っています。職業柄、農家の方と接する機会も多く、新規就農を志す若い人にもお会いします。そんな時、いつもしみじみ思うのは、「この若者は、この町の農業に自分の夢を感じているんだなあ」ということです。この飯綱町であれば、農業で自立し、自分の夢を実現できる。そんなふうに、もっともつと多くの若い人たちが実感できるような町づくりをみんなで考えていきたい。

命の使い方



本郷 華子さん
(地域おこし協力隊)

皆さんは、自分が生きたいように生きていますか？自分の人生、命は、自分のものです。好きなように使いたいです！！人は多様、生き方も多様、自分のタイミングとやり方で生き抜けばOK。違うことは、間違いではないのです。

自分を大切に思い、自分を知り、自分の力で選択して出した結果だから納得し、責任も取れる。こうすることで人は幸せを感じ、繰り返すことで強くなる。そして、壁や苦しみを乗り越え、さらに成長していく。

自分のいいところを見つけ、自分に必要なことは何かを考えましょう。そのため時間を、命を使いましょう。

まずは個人が幸せを感じて生きていることこそが、豊かな社会、そして世界平和をも実現するのだと私は考えます。

上水内北部議会研修会 病院の再編・統合

について学ぶ

昨年9月、新聞で報道された病院の再編・統合について、飯綱町立飯綱病院・信濃町立信越病院も含まれていたことから、令和元年11月22日に、長野県健康福祉部医療推進課の原澤徳泰氏を講師に「地域医療構想について」信濃町議会と一緒に研修しました。

第2期信州保健医療総合計画（2023年度までの6か年）の概要を学び、ま

た、「長野県地域医療構想」の現在の取組みについての話を聞き、質疑を交えて議論しました。将来、現実問題としてどうするかは「地域医療構想調整会議」で協議されます。

飯綱町議会は、12月定例会に発議で「地域の実情を十分に踏まえた地域医療構想の推進を求める意見書」を全員賛成で可決し、関係機関に送付しました。



▲飯綱町立飯綱病院



▲信濃町立信越病院

57号表紙説明

毎年恒例の『ゆかいなむらの音楽会』さよなら2019が開催された。今年も多くの団体が参加し、練習の成果を披露した。本番直前まで練習し、素晴らしい合唱でした。



議会だよりモニター 生の声 ⑱

つながりを、
支え合いが地域を
笑顔に



関いずみさん
(東柏原)

気づくと、誰かが隣の方に声を掛け支えている。誰かのために、声を掛け笑顔を向けている。
議会だよりモニターの依頼をお受けし、何をコメン

トして良いか悩みながらレポートを提出させていただきました。

「議会だより」を手に取りページをめくることを重ねるごとに気づかされたことは、いつも誰かが誰かのために側に寄り添い、ささやかながらもしっかり支え合っているイメージを覚えました。

これからの町づくりにおいて、微力ながらも誰かのためにそっと寄り添い、いっしょに笑い、知恵を出し合い、私は何ができるだろうか？と考えられる機会を得ることが大切なのではないかと考えます。

3月定例会予定

3月2日～19日（18日間）
一般質問
5日（木）・6日（金）
常任委員会
9日（月）・10日（火）

編集後記

議会構成替えに伴い、編集委員会も新たなメンバーになりました。議会だよりモニターの方々の意見等を取り入れながら、町民の皆様には議会の様子を詳しくお伝えしてまいります。よろしくお願ひします。

(信)

編集委員

憲明	大川	人長	行員	発委
信雄	石川	長長	員委	副委
幸長	原田	員員	員員	委委
和子	中島	員員	員員	委委
枝良	瀧野	員員	員員	委委
まゆみ	伊藤	員員	員員	委委
千賀雄	渡邊	員員	員員	委委